

■研究・教育機関としてのご理解とご協力のお願い

国際医療福祉大学及び国際医療福祉大学病院（以下、両者を総称して「当院」といいます。）は、「大学病院」という名称が示すとおり、診療機関であることはもとより、医療に関する研究・教育機関としての機能を持ち合わせています。したがって、下記の通り、当院は研究・教育機関としての特色を有しています。

研究機関

当院では、診療の過程で得られた患者様の症例情報や検査データ等を、医学の発展及びその他の研究のために活用する場合がございます。例えば、定期的に検討会を行い、その経過と治療法について詳細な分析を行っております。また、今後他の医療機関での治療においても有益、重要な情報をもたらすと判断された場合には学会等の場で発表することもございます。情報の活用にあたっては、患者様が特定されないよう匿名化するほか、患者様のプライバシーにも十分に配慮いたします。

教育機関

当院において患者様の診療に従事するスタッフの中には、研修医が含まれています。研修医は、医師免許を有しておりますが、自己の経験を高め、技術を磨く等のために、一定期間当院において臨床研修を行っている者です。また診療の場に、医師、看護師その他の医療従事者を志す学生が立ち会うことがあります。学生の立ち会いは大学教育の一環として、学生に臨床診療の現場を体験させることにより、その医学的知見を深めること等を目的に行っています。学生が診療に関与する場合は、一定の要件を満たす指導医・指導看護師等がその場に立ち会い、十分な指導・監督を行います。

患者様におかれましては、当院が、研究・教育機関であることをご理解、ご了承いただくとともに、当院における業務にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年4月1日
国際医療福祉大学病院 病院長